

女性委員会の意義

女性建築士としての社会的立場、目線と感性を活かし、一步先を行く提案をすることが目的です。女性委員会は垣根のないフラットな関係を構築し、自由闊達な議論を交わす場となっています。また、建築士という同業者同士の交流の場を得て自身の糧とし、さらに社会に還元し地域貢献を目的としています。1984年の設立から活発に様々な活動を行って参りました。メンバーは、大小の設計事務所、ゼネコン各社社員、研究職、東京都職員、大学講師など、年齢も20歳代から60歳代までと多様です。

女性委員会の活動

■ 定例委員会

月一回の定例委員会では、各人の活動発表、地域や連合会のイベント参加への準備、公開シンポジウムの企画など、メンバー相互のスキルとアイデアを持ち寄って議論しています。

■ 見学会

年に2、3回の見学会を実施しています。これまでに、マカオ建築・街並探訪、世田谷散歩、上野界限散策、谷中のHAGISO+hanare宿泊、京都建築探訪+町屋泊+フォーラム参加などを実施し、実際に体験する機会と有識者のお話を伺う勉強会も数多く設けています。



写真撮影：吉田香代子



■ 公開シンポジウムの開催

2年に一度のシンポジウム開催は、女性委員会における最も重要な活動となっています。各自が関心のあるテーマや講師を挙げ、メンバー相互の議論を重ね希求される課題を見出し、講師を招いてきました。公開シンポジウムは毎回100名を超える方々の参加をいただいています。これまでのシンポジウムは以下のテーマで開催してきました。

第12回「家：次代につなぐ家の役割を考える」

第13回「木がつなぐ森と建築」

第14回「東京 — 事前復興とコミュニティ」

第15回「住み継ぎの作法 — 都市住居のストックと再生」

第16回「東京 edo をひらく—人と地域をつなぐ 新しい空間のかたち」

第16回は、2016年6月4日(土)に開催。住居や空き部屋をシェアして社会に開き ビジネスにもするが交流も楽しもうという時代がやってきた。江戸の知恵に学び楽しくて居心地のいい空間に再構築すると、「おもしろい」が地域を繋ぎ、世界に発信する。 http://www.tokyokenchikushikai.or.jp/jigyo_event/20160604jyoseishinpo.pdf



一般社団法人 東京建築士会

女性委員会

活動とメンバーの紹介 第17期

建築士の技術向上、

安心して安全なまちづくり、

そして社会貢献を目指す。

それが東京建築士会です。

